

豊かな自然に ひと・もの・まちが輝く健康都市 網走

市議会だより

第111号
(令和5年5月)

発行／網走市議会 編集／網走市議会広報委員会

【もくじ】

トピックス	2 P
各会派代表質問	3 P～5 P
予算等審査特別委員会概要	6 P
議決結果一覧	7 P
特別委員会最終報告	8 P

市民のみなさまの傍聴をお待ちしております

次の定例会は6月13日(火)～6月22日(木)開催予定です。

※詳細につきましては、議会事務局へお問い合わせください。

■問い合わせ：TEL 44-6111(内線281・282)

中継ホームページ
はこちらから



桂ヶ岡公園の桜 (令和4年5月小林太郎氏撮影)

3月定例会のトピックス

第1回定例会概要

網走市議会令和5年第1回定例会が3月2日から3月22日までの日程で開催されました。

定例会冒頭において、井戸達也議長の辞職を了承し、金兵智則副議長が代行することになりました。

初日に水谷洋一市長から令和5年度の市政執行方針、岩永雅浩教育長より教育行政執行方針が示されました。

これを受け、2日間にわたり各会派による代表質問を行い、あわせて令和5年度各会計予算等、令和4年度補正予算案等の審査を行いました。主な補正予算として、国の新型コロナウイルス感染

対応地方創生臨時交付金を活用し、電気・ガス料金などの物価高騰により影響を受けている市民に

対する支援として水道料金（簡易水道料金を含む）基本料金を減免するための経費、5673万円、現在、破碎・リサイクル施設で稼働している

破碎機で処理できないごみや破碎機が故障等の理由により停止してしまつた際に、代わりに自走式

破碎機で処理を行うことにより、ごみの直接埋立を避け最終処分場の延命を図るための自走式破碎機（二軸方式）購入費6688万円の審査を行いました。

その後、令和5年予算等審査特別委員会を設置。委員長に山田庫司郎氏、副委員長に立崎聡一氏が選ばれました。令和5年度予算案として、一般会計、6特別会計、公営企業会計などが提案され5日間に及ぶ質疑がなされました。

結果、各予算案は賛成多数によって原案どおり可決しました。

採決時には、反対討論を村椿敏章議員（日本共産党議員団）が行い、賛成討論を石垣直樹議員（同志会）、古田純也議員（研政会）、最後に、

民主市民ネット、研政会、公明クラブ、同志会、無会派の工藤英治議員、栗田政男議員を代表して平賀貴幸議員（民主

市民ネット）が賛成討論を行いました。

また議会最終日の3月22日には追加議案として議案第30号令和4年度網走市一般会計補正予算新

型コロナウイルス感染症対策事業として感染予防及び拡大防止に必要な資材の整備等を行うための経費521万円、新型コロナウイルス感染症

の感染に不安のある市民を対象に検査を行うための経費383万円が文教

民生委員会に付託され審査された後に本会議にて原案可決されました。

これによって、補正額は2億7499万円、令和4年度一般会計総額が285億4404万円となりました。

また議案第31号網走市教育委員会の任命については、池田真哲氏が任命され、諮問第1号人権擁

護委員候補者の推薦については、伊藤實氏が推薦されました。

また報告第1号として重油漏れ事故対策検討特別委員会の小田部照委員長から、また報告第2号として新型コロナウイルス感染症対策特別委員会の栗田政男委員長から最終報告がありました。



各派代表質問

研政会

立 崎 聡 一



**問) コロナウイルス 5 類移行後の方向性
医療供給体制及び公費負担について**

答) 医師会及び医療機関と情報を共有し医療供給体制の確保と円滑な対応に努める。

問) マスクの着用について

答) 個人の判断に委ねることが基本だが医療機関の受診等、施設の訪問、公共交通機関を利用する場面では着用を推奨する。

問) 財政状況について

答) 【歳入の見通し】市税減少の中、一次産業の好調に支えられ個人所得の増加が見込まれる。ふるさと納税による歳入の確保。

【歳出の取り組み】事務業務のデジタル化に努めるなど財政健全化を図りつつ、少子高齢化社会の課題解決に取り組む。

問) 現庁舎跡地の利活用は。

答) 網走にふさわしい都市拠点の形成に向け「都市機能誘導施設」「施設配置を念頭に置いた土地利用のゾーニング」を目的とする「都市機能誘導検討事業」において検討する。

問) 耐震機能を満たしていない施設整備は？

答) 消防本部庁舎、総合体育館、市民会館が耐震基準を満たしていない。人口減少社会での公共施設整備は総量縮小、集約的複合化、多機能化、省エネ化を基本に取組検討。

問) 学校給食の無償化の財源確保は。

答) 予算規模は1億3547万円。全額、ふるさと寄附基金を使用。子育て世代への支援で少子化対策の一助になるものと考ええる。

問) ヘルスケアモビリティについて

答) 移動型医療サービス推進事業。通院が困難な患者や医師の負担軽減を図る。令和5年度は、車輛導入が10月予定。網走厚生病院と連携し実証実験する。2年目以降は医療機関と協議を進め市内訪問看護を有する医療機関・クリニックへと拡充していきたい。

問) 市公式LINE(ライン)について

答) 2,100名の方に登録していただいている。機能の充実、使い勝手の向上に努める。

問) 肥料、飼料等生産資材高騰への対応

答) 国が実施することであるが、市も大変危惧しており、配合飼料の価格高騰対策として独自に支援。肥料も補正で提案。国、道に要請しJAとも連携し協議していく。

※他に防災全般、DX、GXの基本計画、水産資源確保、公共交通機関、観光振興、定住自立圏について質問しました。

各派代表質問

民主市民ネット

平 賀 貴 幸



問) 市の財政運営と事業構築について

答) 財政運営は、過去の財政危機を踏まえ、毎年5年先までの中期財政見通しを作成するとともに義務費、施設管理費、施策費、建設事業費などの事業区分を設定することにより、どの経費にどの程度の一般財源が使われているか明確に予見性を高め、中期的な財政運営の仕組みを構築している。引き続き法令順守の徹底を図る。

問) 自治基本条例の制定について

答) 現在のところ条例案を提案することは考えていない。

問) 市民の自発的な取組への支援について

答) 柔軟に、可能な範囲で担当課とも連携を図りながら必要な支援に取り組む。

問) 外国資本の土地・企業買収の対応について

答) 道内各地で外国資本による土地取引があることは聞いている。今後、対象区域の指定が行われることから、その動向を注視したいと考えている。

問) 新電力会社設立による地域へのメリットは

答) 市の遊休地に設置する太陽光発電パネルにより調達し、年間の発電量は200万kw/h程度蓄電池を整備することにより、昼夜の発電量を補完するとともに、災害による停電時には避難施設への電力供給も想定している。

問) 健康意識向上へのデジタル化活用について

答) 4月からは、24時間健康相談事業にデジタル技術を活用したAIチャットボットを追加するなど、市民の利便性を考慮した取組に着手する。

問) 高齢者対策の取組の転換と強化について

答) 高齢者の豊富な知識と経験、また有する技術や能力は貴重な社会資源となるため関係機関や関係部署と連携し、高齢者が社会地域の担い手として活躍できる環境づくりに努める。

問) 現行のごみ処理計画の検証について

答) 分別や堆肥化も計画を下回るなど、当初計画との乖離が生まれ現在の状況となっている。令和5年度は「網走市廃棄物減量等推進審議会」を新たに立ち上げて、次期廃棄物処理施設の在り方について諮問し、新たな計画の策定を進めてまいりたいと考えている。

※その他、物価高騰対策、ふるさと納税、広域連携、公共交通、介護・福祉などについても質問しました。

各派代表質問

日本共産党議員団
松浦敏司



問) 岸田政権と令和5年度政府予算についてですが、昨年の暮れに国会に諮らずに、専守防衛をかなぐり捨て「安保3文書」を閣議決定した。日本が攻撃されなくても自衛隊が米軍と一体となり戦争をすることになる。岸田政権に対してどのように評価しているのか。

答) 安保3文書で、中国は透明性を欠いたまま軍事力を広範かつ急速に増強、東シナ海などにおける力による一方的な現状変更の試みの強化。経済的威圧など従前より重大かつ差し迫った脅威と述べている。岸田首相は「国民の命、暮らしを守るために防衛力を強化していく」と述べているなど難しい判断をしたと思う。

問) 行革により経費削減し、職員削減や事業の民間委託などで財政危機を乗り切ってきた。しかし、今後、市庁舎建設に49億円、ごみ処分場建設や老朽化した公共施設の建設計画があるが見通しを示せ。

答) 将来負担比率は令和2年度決算では112.5%、実質公債費率は17.4%と改善基調が続いている。中期的な見通しでは5年間で28億円の収支不足だが、借金は5年で30億ほど減る見込み。引き続き健全な財政運営と市民満足度の向上の両立をめざす。

問) ごみ処理の広域化と焼却処分について、昨年7月に1市4町による斜網地区廃棄物処理広域化推進協議会を設立した。文教民生委員会の提言をどのように受け止めて進めているのか説明を求める。

答) 広域化計画は1市4町での広域処理をすることで、大枠をまとめたものを示したものだ。

問) 日本共産党は2020年の党大会で綱領にジェンダー平等を掲げた。自衛隊内での性暴力を告発した五ノ井里奈さんの勇気あるたたかい。2017年頃から日本でも世界でも性暴力やハラスメントに声を上げる#Mee To、声をあげた人を孤立させない#With Youの運動が広がっている。庁内におけるジェンダー・ジェンダー平等の取組について伺う。

答) ジェンダーは生物的な性別に対して男女の違いによって、周りの人が無意識に抱く「男らしさ」「女らしさ」といったイメージや役割分担に基づく社会的性別であり社会的性別に基づく偏見や差別、不平等をなくしていくことがジェンダー平等の実現であると認識している。

各派代表質問

同志会
石垣直樹



問) 医療MaaSの取組み地域医療について。

答) ソフトバンクとトヨタ自動車が共同出資する「モネ・テクノロジー」の協力を得て、網走厚生病院と連携しヘルスケアモビリティサービスを構築していく。

問) 若者の就労支援対策について。新卒学生にとり網走は家賃が高く生活がままならないとの声がある。

答) 若者の地元定着は重要な課題、奨励金制度を今年度創設し、一助になるものと考えている。

問) デジタルスキル向上に繋がる市内事業者との連携、デジタル人材育成について。

答) 令和5年度からは、網走商工会議所において専門人材の配置により、中小企業のDX推進体制の構築を進めてまいります。東京農業大学との連携も図りながら、地域デジタル人材の育成に努めてまいります。

問) 高齢者の孤独死対策について。

答) 新年度は、ご家族が遠方にお住まいなど、日常に不安を抱える単身高齢者等の見守り体制の充実を図るため、通信機能を持つ電球の設置に取り組みます。

問) 生徒指導、情報モラルの指導及び相談体制について。

答) 各小中学校においては、PTAや学校運営協議会と連携しながら「情報モラル教室」を実施し、講師を招いての正しい使用方法やSNSの危険性について児童生徒や保護者へ啓発し、指導体制や相談体制の強化に努めています。また、「端末活用のためのきまり」を作成し日常的に指導に努めています。

問) 親からのSNSトラブルに対する相談体制について。

答) 市内学校においては、保護者等からの相談に対して教頭が窓口になり、相談内容は校内のICT推進委員や生活指導担当教員等と協議し回答するなどの対応をしている。

問) 北朝鮮ミサイル発射に係る避難対応は。

答) 「Jアラート」と連動した、「お知らせメール@あばしり」、「緊急告知・防災ラジオ」のほか、「消防サイレンの吹鳴」により周知している。また、国、道とも連携した避難訓練の実施に向けて、取り組むとともに迅速な情報収集、周知、など、防災体制の強化に努めてまいります。

※その他40項目について質問しております。

第1回臨時会概要

この臨時会は、国の補正予算を受けて、市としては令和4年度の大型補正予算を審議するため、2月2日に開かれました。

一般会計では、9億7,899万円で補正後の予算額は、282億6,906万円となります。また、下水道事業会計では、1億円を補正します。

主な事業は、歩道3路線の整備や橋梁の補強で2億4,200万円、港湾整備で4,950万円、潮見市営住宅（1戸建）を5戸建設で1億6,400万円、市営住宅取壊しで8,500万円、最終処分場に破砕機7,000万円、出産子育て応援に2,773万円などです。

補正予算の内、燃油代と電気代が約1億300万円で、その内電気代は8,700万円（当初予算比30%増）となりました。

歩道の整備は、潮見鱒浦線、つくしヶ丘中央線、駒場北1丁目3号線となります。3路線とも令和5年度中に完成の予定です。

出産子育て応援金は令和4年度に妊娠および出産した方へ10万円を支給するものです。現在の出生数は145人です。

原油高騰に対する補正は、市庁舎、エコーセンター、福祉センター、火葬場、一般廃棄物処理場などの公共施設、市民健康プールなどのスポーツ施設、小中学校、ロードヒーティング、防犯灯などです。

また、年度内での事業完了が難しいため8億5,222万円を繰越明許費として補正することも審査しました。

その後、本会議で各委員会の審査結果が報告され、可決されました。

また、重油流出事故に係る経費200万円の専決処分の報告が承認されました。

また、網走市議会として「油流出事故に係る対応を求める」意見書が全会一致で可決され、議長から北海道知事へ提出しました。

議会だよりを音声でお届けします

音読や訪問朗読などの活動をしている朗読ボランティア団体「声の図書館そよかぜ」は、平成13年から目の不自由な方やご高齢の方々のために「議会だより」を朗読したCDを作成し、ご希望の方々に無償で配付されております。

CDをご希望の方は、網走市議会事務局までご連絡ください。

各派代表質問

公明クラブ

澤谷 淳子



問）当市は物価高騰対策で水道料金を減免する。LPガス料金も支援しては。

答）LPガスは都市ガスと比べ原料価格が安定しているため国の価格激変緩和対策事業の対象となっていない。市として新たな支援策を検討している状況にないが、価格の推移・生活に及ぼす影響・国の支援策の動向を注視していく。

問）家賃補助等を行う「新婚新生活支援事業」を実施してはどうか。

答）事業の検討をしたものの結婚の形をとらない場合など取扱いの整理が必要な事例等が想定されたため、家庭の状況に応じ子育てに役立てて頂くよう「新生児子育て応援祝金支給事業」の実施に至った。他市町村を参考に研究したい。

問）带状疱疹ワクチン助成の市民周知と健康マイレージへのポイントは。

答）市ホームページの掲載や公共施設等へのリーフレットの設置により周知。改正・更新に努める。健康マイレージは追加する。

問）移動型サービス医療MaaSの構想は。

答）医療機器を搭載した専用車両に看護師が乗車し慢性疾患の患者宅を訪問、医師とテレビ会議システムでオンライン診察を行う。令和5年10月を目途に厚生病院と連携し実証運行を開始。2年目以降は医師会や市内の訪問看護を有する医療機関やクリニックに拡大する。

問）雪対策元年の宣言を。

答）昨年末、道路除排雪に関する町内会アンケートで個人所有地の空地を雪置場として活用を望む声が22町内会から寄せられた。公園再編計画で遊具を置かない公園を雪置場とする検討をしたい。

問）重油漏れ事故の解決に向け市長の決意を

答）昨年9月、北海道知事に汚染土の全量撤去を求めるための一層の指導徹底の要請をした。現在、漏洩箇所周辺の地層調査、地下水モニタリング調査、今後の土壌ガス調査により漏洩した重油の所在と量を確定させるよう北海道と一体となり一日も早い解決に努める。

※この他、財政、水道料金減免、書かない窓口、長期空き市営住宅、子宮頸がんワクチン、開業医推進事業、津波想定見直し、網走湖シジミ・ワカサギ資源、フリースクールなど質問しました。

予算等審査特別委員会

予算等審査特別委員会概要

令和5年第1回定例会

において、一般会計で、266億4538万円、市有財産整備特別会計をはじめとした6特別会計の合計が96億9672万円さらには、水道・簡易水道・下水道の3公営企業会計の合計が51億2260万からなる、総額414億6471万円の令和5年度予算（案）が上程されました。

【費目の質疑概要】

1日目（歳入・議会費・総務費・消防費）

質疑者10名

避難所初動マニュアル、防災ラジオ配布状況、地域FM情報発信事業、防犯灯管理事業、地域おこし協力隊活用事業、友好都市交流事業、財政の見通し、花いっぱいまちづくり推進事業などの項目でした。

2日目（民生費・衛生費）

質疑者10名

健康マイレージ事業、生活保護事業、高齢者等緊急通報システム設置事業、带状疱疹予防接種助成事業、資源物集団回収支援事業、紙おむつストックヤード、公衆浴場確保対策補助金、移動型医療サービス推進事業、重油漏れ問題などの項目でした。

3日目（労働費、農林水産業費、観光商工費）

質疑者10名

デマンドバス運行事業、観光デジタルプロモーション事業、天都山展望台・オホツク流水館管理運営事業、つくり育てる漁業の推進、若者就業定着推進事業などの項目でした。

4日目（土木費、教育費）

質疑者9名

都市公園等ストック再編事業、除雪事業、市道整備事業、河川整備事業、市営住宅管理及び建設事業、ロードヒーティング管理事業、みなと観光交流センター魅力向上検討事業、スクールバス運行費、スキー場管理運営事業、学校給食事業、学校図書、インクルーシブ教育、通級教室開設などの項目でした。

5日目（特別会計、企業会計）

質疑者6名

生活支援体制整備事業、介護労働者不足と経営状況、検診の受診状況、導水管及び配水管の今後の計画、網走港整備特別会計の見通し、高齢者ふれあい支援事業などの項目でした。

【結果】

令和5年度各会計予算（案）は4項目の附帯意見を付して、研政会、民主市民ネット、公明クラブ、同志会の4党派と、工藤議員、栗田議員（12名）の賛成多数で原案どおり可決しました。



附帯意見

- ① 二元代表制における市民及び議会との信頼関係が市政運営の大原則であるため、これに最大の意を用い努力すること。
- ② 限られた財源の中で、市民の満足度に応えるには更なる工夫と努力が必要。公共施設、社会基盤の再編整備については市民の信頼に耐えうる説明に努め、より効率的、計画的に進めていくこと。
- ③ 人口減少の時代における少子化対策にはさらに積極的な展開が求められる。子どもは網走の未来。子どもを産み育て、教育していく環境を大きく前進させること。
- ④ 流水館の入館料の改定については、網走市民や子どもに対する軽減策導入を行うこと。

議決結果一覧

第1回臨時会の議決結果について（2月2日）

○全会一致で決定・可決した議案

議案第1号 令和4年度網走市一般会計補正予算

議案第2号 令和4年度網走市下水道事業会計補正予算

議案第3号 網走市議会委員会条例の一部を改正する条例制定について

議案第4号 網走市議会会議規則の一部を改正する規則制定について

意見書案
第1号 油流出事故に係る対応を求める意見書提出について

報告第1号 令和4年度網走市一般会計補正予算に係る専決処分の報告について

第1回定例会の議決結果について（3月2日～3月22日）

議案と議決結果

(○：賛成 ×：反対 -：欠席)

※副議長は議決に加わりません。

研 政 会			民主市民ネット		公明クラブ		日本共産党議員団		同志会		無所属		
井 立	古	平	山	澤	永	松	村	石	小	工	栗	近	
戸 崎	田	賀	田	谷	本	浦	椿	垣	田	藤	田	藤	
達 聡	純	貴	庫	淳	浩	敏	敏	直	部	英	政	憲	
也 一	也	幸	司	子	子	司	章	樹	照	治	男	治	

○議員別議案賛否一覧表（賛否の分かれた議案）

議案第1号 令和5年度網走市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	-
議案第3号 令和5年度網走市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	-
議案第4号 令和5年度網走市網走港整備特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	-
議案第6号 令和5年度網走市介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	-
議案第7号 令和5年度網走市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	-
議案第12号 天都山展望台・オホーツク流氷館条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	-
議案第26号 網走市個人情報保護法施行条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	-
議案第27号 個人情報保護法の改正に伴う関係条例の整理に関する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	-

○全会一致で決定・可決した議案

議案第2号 令和5年度網走市市有財産整備特別会計予算	議案第23号 網走市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
議案第5号 令和5年度網走市能取漁港整備特別会計予算	議案第24号 網走市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
議案第8号 令和5年度網走市水道事業会計予算	議案第25号 網走市企業版ふるさと寄附基金条例制定について
議案第9号 令和5年度網走市簡易水道事業会計予算	議案第28号 財産の取得について
議案第10号 令和5年度網走市下水道事業会計予算	議案第29号 網走市議会の個人情報の保護に関する条例制定について
議案第11号 網走市附属機関条例及び報酬職員給与条例の一部を改正する条例制定について	議案第30号 令和4年度網走市一般会計補正予算
議案第13号 令和4年度網走市一般会計補正予算	議案第31号 網走市教育委員会委員の任命について
議案第14号 令和4年度網走市国民健康保険特別会計補正予算	報告第1号 重油漏れ事故対策検討特別委員会の報告について
議案第15号 令和4年度網走市網走港整備特別会計補正予算	報告第2号 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会の報告について
議案第16号 令和4年度網走市介護保険特別会計補正予算	選任第1号 常任委員会委員の選任
議案第17号 令和4年度網走市水道事業会計補正予算	諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦について
議案第18号 令和4年度網走市簡易水道事業会計補正予算	意見書案第1号 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書提出について
議案第19号 令和4年度網走市下水道事業会計補正予算	請願第24号 学校給食一部集約化に対して再検討を求める請願（不採択）
議案第20号 網走市職員退職手当支給条例の一部を改正する条例制定について	請願第25号 未来を担う子どもたちの心身の健やかな成長を考慮した学校給食運営を求める請願（不採択）
議案第21号 網走市学校給食共同調理場設置条例の一部を改正する条例制定について	請願第30号 網走市教育委員会による議会軽視・民意無視の学校給食の一部集約化に対し、毅然とした反対姿勢を貫くことを求める請願（不採択）
議案第22号 網走市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	陳情第21号 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書提出についての陳情（採択）

トピックス

重油漏れ事故対策検討
特別委員会 最終報告

令和5年3月22日、本会議において重油漏れ事故対策検討特別委員会の調査結果の報告をいたしました。

令和4年3月23日、網走市呼人の網走観光ホテルの重油が約8千ℓも敷地内に流出した件について、議会はこれを漁業や観光にとどまらず、地域振興の浮沈に係る重大案件と捉え、第3回定例会において特別委員会を設置し、以来8回もの特別委員会を開催、北海道が行っている調査の状況把握などの他、対応可能な条例や法律、学習会の形式で専門家の助言指導を数回にわたり受けてきま

した。

その中で、北海道知事宛に意見書の提出を決定し、令和5年2月13日、井戸議長と小田部委員長が道庁を訪れ、直接担当者に手渡しし、令和5年2月28日までに回答していただくよう要請しました。



報告の様子（小田部委員長）

この結果、回答を頂きましたが、その内容は漁業関係者や特別委員会には到底納得のいくものではありませんでした。

また、網走市環境基本条例を活用した直接交渉の取組についても求めてきたところです。

事故発生から1年が経過しましたが、事態の進展どころか実態の把握すら出来ず、関係者の不安と不満だけが募った一年でした。

また、議員の任期も間もなく終了することから、今期においてはこれ以上の進展は見込めず誠に残念でなりません。

次期議会においても、引き続きこの対応対策を強力に推進していただくことを望んでおります。

新型コロナウイルス感染症
対策特別委員会 最終報告

世界中を震撼させた新型コロナウイルスは、私達の日常生活を大きく変えました。市議会では市民の生命を守るために令和3年1月に特別委員会を立ち上げました。設立当時は山田委員長のもと運営され、令和3年6月から委員長に栗田政男議員、副委員長は澤谷議員が進めてきました。

ワクチン接種については大きなトラブルもなく運営されましたが、市民への情報提供不足が見られ、不安を解消できなかったことが大きな反省点でした。道と市の連携がうまく取れていない部分もあり、早期の改善の



報告の様子（栗田委員長）

必要性を強く感じました。

5月には分類も変わりますが、少しずつ終息に近づいています。引き続き感染対策をお願いします。



マスクを外したニボネ